

Aブロック デジタル・トランスフォーメーションによる 地域課題の解決				Bブロック その他の事業	
1,	北海道 富良野市	6,	大阪府	11,	北海道 猿払村
2,	富山県 射水市	7,	兵庫県 姫路市	12,	青森県 田子町
3,	山梨県 都留市	8,	熊本県 五木村	13,	秋田県 にかほ市
4,	長野県	9,	大分県	14,	長野県 東御市
5,	静岡県 南伊豆町	10,	沖縄県 那覇市	15,	兵庫県 三木市
				16,	鹿児島県 和泊町

# Aブロック デジタル・トランスフォーメーションによる 地域課題の解決

1,	北海道 富良野市	6,	大阪府
2,	富山県 射水市	7,	兵庫県 姫路市
3,	山梨県 都留市	8,	熊本県 五木村
4,	長野県	9,	大分県
5,	静岡県 南伊豆町	10,	沖縄県 那覇市

# 富良野市 ワークーション受入環境創出プロジェクト



## 背景

テレワークの進展など、アフターコロナ・ニューノーマルな時代を見据え、観光リゾート地の強みを生かし、国内外の観光客に加え、ワークーションや企業研修など、「新たな人」を呼び込み、関係人口創出、地域活性化を図りたい。



## 現状の課題

企業社員やノマドワーカーなどのワークーション等を受け入れる環境（ソフト・ハード）が整備されていないので、魅力ある受入環境の構築・整備に向けて、企業のノウハウやネットワーク、人材、資金が必要となる。



用途変更



テレワーク施設の整備など

## 事業の目的

ワークーション等を通して、地元の人と訪れる人の輪が繋がり、驚きを生み、ヒト、モノ、コト、カネが循環し、「ふらの」に新たな息吹をもたらすことを目指す。

⇒観光客とは異なる域内消費、ローカルベンチャー、地域課題解決、将来的な企業進出、移住など



## これまでの取組

令和2年度、官民連携によるワークーション受入検討実証事業を実施。

⇒先進地視察や首都圏企業等のワークーション実証など



今月、民間事業者らで構成する研究会から市に対して、ワークーションによる関係人口創出に向けた提言書が提出。

富良野市のワークーションによる関係人口創出に向けた提言書



令和3年2月  
富良野市ワークーション受入研究会

提言事項

1. 市役所内のワークーション推進、サテライトオフィス誘致、テレワーク施設運営に向けた専任職員の配置について
2. 市役所内の「ワークーション等受入推進本部（仮称）」の設置について
3. ワークーションを実施する企業等に対する支援について
4. 民間事業者・中間支援組織への活動・運営費の支援について
5. テレワーク施設（ワークスペース）整備について
6. テレワークを含むワークーションの受入環境を整備する観光・宿泊事業者等への支援について
7. ワークーション受入地のPRに向けた情報発信及びモニターツアーの実施について



# 富良野市 ワークーション受入環境創出プロジェクト

事業内容



得られる成果等

### 成果・目標

道内外の企業社員・フリーランス、海外からのノマドワーカーと帯同する家族を呼び込む。

- ⇒ 域内消費の増加
- ⇒ 関係人口の創出
- ⇒ 将来的な企業進出、移住

### 企業に求めるもの

ワーケーション等受入環境の構築・整備に向けて、自治体・地域住民と「ゼロ」からの共創に必要な人材派遣及び資金提供。

### 企業のメリット

- ・ 知名度の高い富良野で地域貢献による企業イメージアップ
- ・ 三位一体（自治体＋地域住民＋企業）の共創による人材育成
- ・ 企業のデジタル技術等のノウハウが受入環境整備に貢献
- ・ 本市計画等に基づくデジタル化、スマートシティの取組と連携
- ・ リゾートテレワーク先として社員等のウェルビーイングに貢献

8	動きが早い 経済成長も	9	産業と技術革新の 基盤をつくろう	11	住み続けられる まちづくりを	17	パートナーシップで 目標を達成しよう
---	----------------	---	---------------------	----	-------------------	----	-----------------------

# 富山県射水市 スポーツ施設を核とした地域活性化事業

## 背景

北陸新幹線開業や富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟から6年を迎え、射水市のベイエリアが持つ地域資源が益々着目され、ホテルや民泊施設が相次いで進出するなど、市外からの資金を稼ぐ絶好の機会を迎えつつある。



## 現状の課題

年間100万人の観光客が訪れる「海王丸パーク」、「新湊きっときと市場」があるものの、日帰り客が大半を占めるなど、通過型の観光にとどまり、宿泊が少なく、観光分野の経済付加価値額が小さい。



## 事業の目的

ローカル5G、AIカメラ等を活用した次世代型フットボールセンターの建設



- ・本市の認知度・ブランド力の向上
- ・合宿誘致、全国大会開催等による交流人口拡大
- ・スポーツビジネスの創生
- ・アスリートの育成
- ・賑わいの創出



## これまでの取組

- (1) ベイエリア周辺への観光客集客
- (2) 健康増進エリアの形成  
(海竜スポーツランド、パークゴルフ場、新湊マリーナ、海水浴場)
- (3) 企業と連携したスポーツプログラムの提供 (複数社と協定締結済)
- (4) プロスポーツ団体との連携 (サッカー、ハンドボール)
- (5) 地域おこし協力隊によるスポーツ振興
- (6) 富山県西部6市による合宿誘致活動



# 富山県射水市 スポーツ施設を核とした地域活性化事業

## 事業内容

### 5G、Iot、A I カメラを活用した次世代型フットボールセンター

#### ローカル5Gを活用したフットボールセンターの整備

- ✓ AIカメラ等を活用した映像による遠隔指導、オンラインスカウト
- ✓ 選手にセンサーを付け、運動量・走行ルート等の分析
- ✓ アクションカメラ、ドローン、AIカメラで撮影した映像をAIで解析

#### 大規模大会、スポーツ合宿の開催

- ✓ AIカメラ等を活用した臨場感溢れる映像のライブ配信



## 成果・目標

- ・ 大規模大会、合宿の誘致による交流人口の拡大
- ・ Iotなどを活用したスポーツビジネスの創生



- ・ 地域全体の「稼ぐ力」を高める。
- ・ 経済波及効果を雇用の創出につなげる。

## 企業に求めるもの

- ・ 新たなコンテンツの提供
- ・ 地域資源を活かした新事業の展開
- ・ 射水市との新たな関係構築

## 企業のメリット

- ・ 社会貢献企業としてのPR
- ・ 新たな事業展開につながる

## 得られる成果等

# 都留市 次世代事業創出プロジェクト

## 背景

都留市では、若者の流失が顕著。  
特に都留文科大学学生は卒業後、**98.7%**が市外へ。  
9割の市外出身学生と地元の若者に少しでも定住のきっかけを。



## 現状の課題

若者（学生含む）は、地域交流の機会が少なく、愛着を醸成する機会がない。また、市内企業、通勤圏内企業とのマッチング環境も不十分。創業支援やビジネス教育環境も不利である。

## 事業の目的

- ・ 地元企業とのマッチング
  - ・ 創業支援（ビジネス教育）
  - ・ 地域交流、地域課題解決
- ➔
- ・ 若者定住の増
  - ・ 通勤圏内就職、創業者数の増
  - ・ 地域の活性化



## これまでの取組

- ・ ビジネスプランコンテスト
- ・ 職業紹介
- ・ 田舎フリーランス養成講座
- ・ 社会学科 課外オープンゼミ etc

### 例1/ 地方進出を検討されている事業者様へ



## 一般社団法人まちのtoolboxとは・・・



### 4つの重点テーマで事業創出

- 1 移住促進
- 2 仕事創出
- 3 生涯学習
- 4 健康増進

まちづくりに関連の提案を随時受付、事業化積極支援

# 都留市 次世代事業創出プロジェクト

## 事業内容

- ・ 創業支援事業
- ・ ビジネス教育事業
- ・ マッチング事業
- ・ 地域交流  
地域課題解決事業



新しい働き方の創造！

若者の定住化を実現！



## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・ 創業、ビジネス教育の促進
- ・ 通勤圏企業マッチングの促進
- ・ 地域活動の拡充



- ・ ビジコン市内エントリーの増加
- ・ 地域活動参加者の増加
- ・ 定住者の増加

### 企業に求めるもの

- ・ DXノウハウの提供
- ・ ビジネスノウハウの提供
- ・ 地域活性、若者・学生支援で協働
- ・ ノウハウ提供だけでないプレイヤーとしての実質的な地域への関わり

### 企業のメリット

- ・ 技術、ノウハウのPR
- ・ 人材育成
- ・ 慈善的でなく創造的CSR活動
- ・ 地域に残る実績

# 長野県DX戦略推進のためのデジタル人材育成



背景

## 2020年7月、長野県DX戦略を策定



スマートハイランド推進プログラム

県民生活

行政



信州ITバレー構想

県内産業



現状の課題

### DX推進を担うデジタル人材の不足（自治体にも、企業にも…）

事業の目的

### 長野県DX戦略推進体制の構築

県+77市町村による  
先端技術活用推進協議会

### 未来のデジタル人材を育成



若年層向けアプリコンテストや  
ハッカソン

これまでの取組

# 長野県DX戦略推進のためのデジタル人材育成



## 事業内容

### ①長野県DX戦略推進 パートナー連携協定



長野県のDX推進担当課にデジタル人材を派遣いただき、長野県DX戦略を一緒に推進いただけるパートナー企業を募集しています。



成果・目標

**特に中山間地域や小規模町村におけるDX推進**

企業様の  
メリット

新事業創出等に必要  
な実証事業フィールド  
提供及び規制緩和等  
への協力



### ②デジタル人材育成イベント 「NAGANO FLEDGE」の支援



これからのDX推進を担うデジタルネイティブ世代をターゲットとした、デジタル人材育成イベントに対する支援を募集しています。



成果・目標

**若年層のデジタル人材育成につながるメンタリングやイベント支援**

企業様の  
メリット

社会貢献活動として、  
若年層やその親世代  
向けへのPR活動



# 静岡県南伊豆町 子どもたちが未来を描ける地域づくりプロジェクト

## 背景

南伊豆町は、伊豆半島の最南端という地理的不利な条件にあり、人口減少・少子高齢化が著しく進んでいます。

## 現状の課題

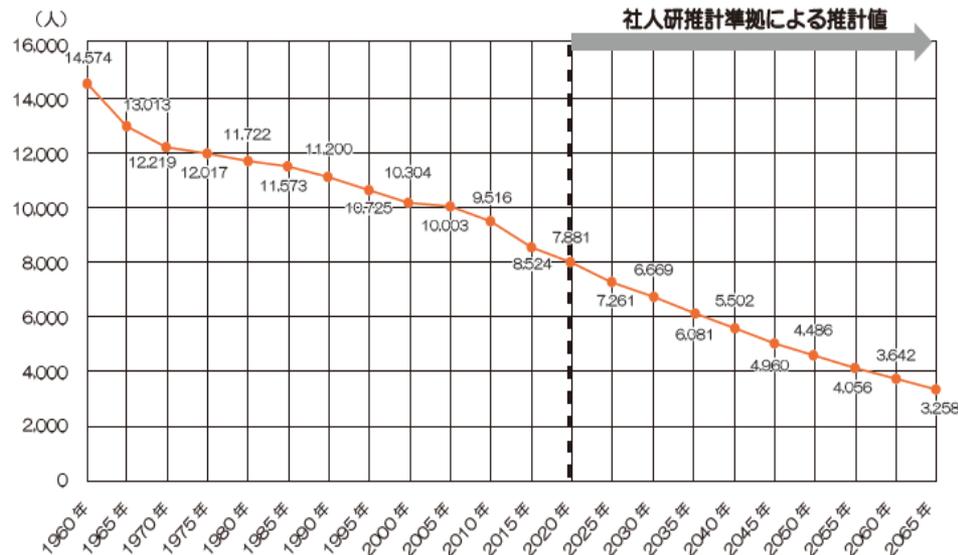
子どもたちは、伊豆半島には高等教育機関がありません。また、子どもたちが就きたい仕事もほとんどありませんし、子どもたちが将来就きたい仕事像を描く見本がありません。

## 事業の目的

本来、子どもたちが得られる能力や知識が、住む地域によって違う現状を本町はとて憂慮しています。南伊豆町では、この状況を「地域格差」と捉え、この地域格差を最大限抑制することができるよう、現在都市部において地方にない仕事を誘致すること、それにより本町の子どもたちのロールモデルや将来の地方での活躍に結びつけることができるよう、コロナ禍をも機会と捉えたサテライトオフィス等の誘致、そして、本町の子どもたちの将来の可能性を大きく伸ばすための事業に取り組めます。

## これまでの取組

南伊豆町では、これまでサテライトオフィス誘致、ワーケーション誘致に取り組んできました。また、本当を含めた伊豆半島南部地域では、連携してワーケーション誘致に取り組んでいます。本町では「南伊豆るプロジェクト」としてこれらの事業に取り組み、2社がサテライトオフィスを本町に設置したほか、多くの企業の視察等を受け入れている実績があります。



# 静岡県南伊豆町 子どもたちが未来を描ける地域づくりプロジェクト

## 事業内容

STEP1 これまで進めてきたサテライトオフィス等誘致事業「南伊豆るプロジェクト」をアップグレードします。

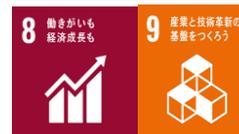
⇒伊豆半島最南端に位置するゴルフ場「伊豆下田カントリークラブ」内にあるホテルをサテライトオフィス、ワーケーション滞在可能施設にリフォームし、受け入れ体制を強化

STEP2 サテライトオフィス進出企業等と連携し、企業人材等による子どもたちへのキャリア教育支援活動に取り組みます。

⇒子どもたちへの新たなロールモデルの提供etc

STEP3 子どもたちが安心して学習できるように、新たな奨学金制度を創設します。

⇒在住要件による返済免除制度など



## 成果・目標

## 得られる成果等

- ★これまで地域になかった仕事が生まれます。
- ★サテライトオフィス等による新たな人の流れで、地域活性化につながります。
- ★子どもたちが新たなキャリアに気づくことができ、新たなキャリアを築くことができます。
- ★たくさん学んだ南伊豆の子どもたちが、地域に帰って活躍することで、持続可能な地域社会を築くことができます。



## 企業の皆様へのお願いとメリット

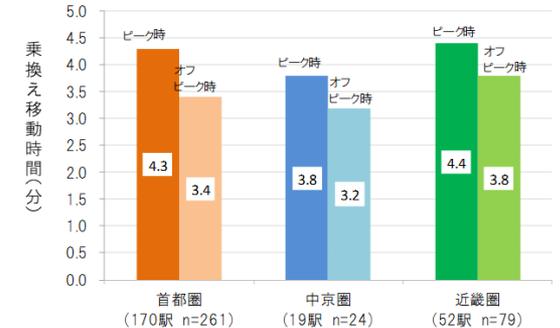
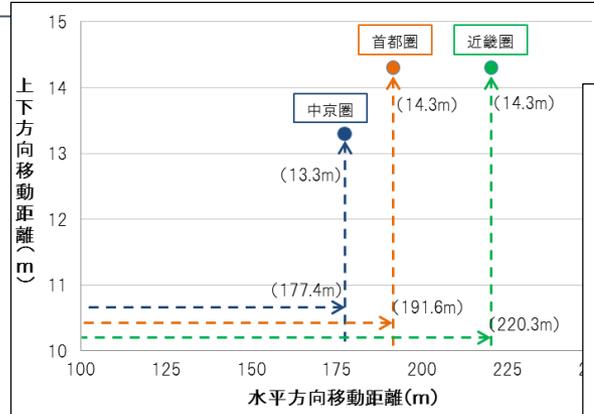
本事業への金銭的御支援、人的御支援をお願いいたします。  
企業内で、サテライトオフィス、ワーケーション、リモートワークを推進してください。

施設整備の支援により、恵まれた自然環境の中で、整った仕事環境を有する施設をワーケーション等に活用することができます。地方の子育て、教育にかかわることで、企業の未来を拓く原動力、意欲につながります。南伊豆の子どもたちとともに、さらなる成長を遂げましょう！

# 大阪府・公共交通機関等と連携した受入環境整備事業

## 背景

- ・近畿圏は首都圏に比べ、乗継の移動距離、移動時間が長い



※集計対象はピーク時調査及びオフピーク時調査の両調査を実施した経路のみ  
出典：第12回大都市交通センサス

## 現状の課題

- ・乗継改善を求める府民の声が以前から多い
- ・さらに、近年のインバウンド増加等に伴い、
- ・電車の乗継表示がわかりにくく複雑
- ・多言語標記が少ない

などの指摘がある

## 事業の目的

他社路線への乗継案内整備を対象に補助を実施



鉄道の乗継利便性向上を図る

## これまでの取組

令和元年度までに新大阪駅や難波駅など府内13駅で取組みが進められ、案内サイン、デジタルサイネージによる乗継案内を充実・強化



# 大阪府・公共交通機関等と連携した受入環境整備事業

## 事業内容

- ・府内主要駅では、利用者が求める行先案内は多様化
- ・多言語化対応において固定サインでは4, 5か国語が限界。

これまで整備した固定サインやデジタルサイネージ等から、利用者のスマートフォンなどへ情報発信

利用者の視点にたった情報案内の充実



## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・利用者等の利便性向上
- ・公共交通の利用促進

ビジネス、観光を目的とした来阪者の増加

床面案内サインにより、スムーズに案内できる



(現場スタッフの声)

### 企業に求めるもの等

- ・来阪者の公共交通の受入環境整備への協働

### 企業のメリット

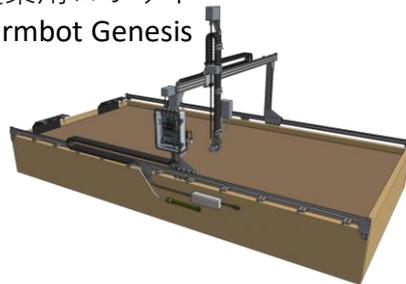
- ・利便性向上による大阪の魅力向上や鉄道沿線の地価上昇など
- ・来阪者増によるビジネスや観光需要の創出

# 姫路市 ・ スマート市民農園事業

## 背景

- ・ 2030年までに人口増と中間所得層の増により農産物需要は1.5倍になる
- ・ 世界的な農業DXの進行

農業用ロボット  
Farmbot Genesis



水やり機能

## 現状の課題

- ・ 農業分野におけるICT人材の不足
- ・ プログラミング教育等に農業を意識したものがない



植え機能

## 事業の目的

- ・ **農業分野におけるICT人材の育成**



カメラ機能



オフグリッド化も可能

## これまでの取組

事業期間 令和2年度～令和6年度  
事業費 1億3千万円（5年間）

- ・ **書写養護学校（中等部）との協働開始**



- ・ PCから遠隔操作可能
- ・ ハード&OS共オープンソース

事業  
内容

- (1)スマート市民農園事業
- (2)アグリテック甲子園事業
- (3)農業版STEAM教育事業

成果・目標

## ・ 農業分野のICT人材育成



SDGs達成に貢献

得られる  
成果等



企業に求めるもの  
企業版ふるさと納税による支援

企業のメリット

- ・アグリテック甲子園での御社支援をPR
- ・本市出前講座にて御社支援をPR
- ・SDGs達成への貢献をPR可

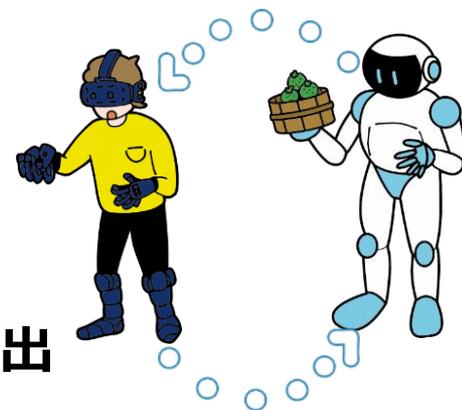
# 大分県・遠隔操作ロボット「アバター」

## 背景

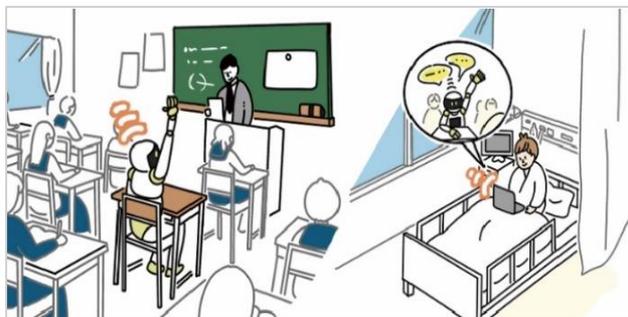
- ・ 政策の柱「先端技術への挑戦」
- ・ ANAホールディングスと連携  
遠隔操作ロボット「アバター」の実証実験

## 事業の 目的

- ・ 空間、時間や身体的制約の壁を越える、**瞬間移動手段**  
→ 様々な分野の諸課題を解決、**新しい産業の創出**



## 解決したい課題例



## これまでの取組



# 大分県・遠隔操作ロボット「アバター」

## 事業 内容

- ・「アバター」の実証実験、技術開発への支援  
(遠隔施設見学、遠隔教育、遠隔ショッピング等)
- ・県内企業向けの勉強会、人材育成



## 大分県からのご提案

### ●福祉、教育、防災分野などでの「アバター」 実装に向けてご協力いただける企業様

- ・企業版ふるさと納税制度を活用した施策での連携

※SDGsゴール達成への寄与、CSV (Creating Shared Value)、  
ブランディング効果等



### ●自社の事業で「アバター」活用を検討いただける企業様

- ・アバターを通じた施策、取組での連携

例：御社の施設にアバターを置いて、大分県から施設見学など

### ●アバター技術の開発企業様

- ・実証フィールド提供、県内企業向けの勉強会等での連携

# 那覇市・デジタル化推進事業 – 市制施行100周年を迎えて –

## 背景

### 社会全体のデジタル化が加速！！

- ▶ 国は、デジタル庁の創設などデジタル社会の形成に向けた施策を加速させている。
- ▶ 社会全体のデジタル・トランスフォーメーションが求められている。

## 現状の課題

### 那覇市は、デジタル化が進んでいる！！…とは言い切れない。

- ▶ 業務のプロセスにおいて紙を前提とするものが多い。
- ▶ 進展する先端技術（AI・RPA等）を行政サービスや業務、地域課題の解決に活かしてきていない。

## これまでの取組

### ICTを利活用した施策を展開！

- ▶ AIチャットボット、RPA等の新技術の導入
- ▶ 行政手続きのオンライン化、異動受付支援システム等の導入
- ▶ マイナンバーの活用、電子決裁、情報連携など現場業務のデジタル化を推進

## 事業の目的

### 「誰ひとり取り残さない！」そして、「市役所も取り残されない！」

- ▶ 行政サービスにデジタル技術を活用し、更なる市民の利便性向上を図る。
- ▶ 市役所内のDXにより業務効率化を図り、新たな価値を生み出す。
- ▶ 市制100周年を契機としたデジタル化の普及・啓発

# 那覇市・デジタル化推進事業 – 市制施行100周年を迎えて –

事業  
内容

## デジタル社会の構築に向けた 段階的なアプローチ

- 地域課題の解決！
- 地域のデジタル化！
- 市民サービスの向上！
- 業務の効率化！  
市民サービスのデジタル化！



### <令和3年度>

- ▶ 100周年イベントを通じた機運の醸成
- ▶ 行政手続きのオンライン化等
- ▶ デジタル技術を活用した業務改革

### 成果・目標

- ▶ デジタル化事業の実施
- ▶ 100周年イベントの実施



- ▶ DXの促進
- ▶ 機運の醸成

### 企業に求めるもの等

- ▶ デジタル化事業への協力
- ▶ 100周年行事への協力  
(デジタル関係)

### 企業のメリット

- ▶ 企業PR



得られる  
成果等

## Bブロック その他の事業

11,	北海道 猿払村
12,	青森県 田子町
13,	秋田県 にかほ市
14,	長野県 東御市
15,	兵庫県 三木市
16,	鹿児島県 和泊町

# 北海道猿払村 新産業創造プロジェクト

## 背景

【漁業と酪農の2大基幹産業を有しながらも】

人口がゆるやかに減少している



## 現状の課題

【就労先の選択肢が少ない】

進学で村を離れた若者が戻らない

移住を希望される方の魅力的な受け皿が少ない



## 事業の目的

【新規就農者・企業誘致を目指して】

施設園芸の猿払モデルを構築する



## これまでの取組

17年 地方版IoT推進ラボに選定(経済産業省)

19年 猿払村IoT推進構想策定



# 北海道猿払村 新産業創造プロジェクト

事業  
内容

- ◆施設園芸調査研究事業  
施設整備、野菜・イチゴ等の栽培
- ◆食と健康のプロジェクト  
村民の健康を食から向上
- ◆既存産業との連携  
新商品開発、エネルギー対策等



- ◆持続可能な  
活力ある村の実現

得られる  
成果等

## 成果・目標

- ◆施設園芸栽培システムの確立
- ◆村民の健康への展開
- ◆村特産品の新商品開発
- ◆企業・新規就農者誘致
- ◆村の保有する資源の利活用

## 企業に求めるもの

- ◆新産業事業化に向けて協働マーケティング、産品開発  
新・省エネルギー対策など

## 企業のメリット

- ◆新たなパートナーシップの構築
- ◆SDGsへの取組みなどのPR効果
- ◆地域資源を活かした新事業の展開

# にんにく王国たっこまち 環十和田湖Gateway構想の推進

## 背景

十和田湖と首都圏をつなぐ最短ルート上にあるが、立地を生かし切れていない。

## 現状の課題

儲かる産業（にんにく）がありながら、地域の人材育成が進んでいない。

## 事業の目的

既存施設の整備と新規事業の実施 → 地域を担う次の世代の育成

## これまでの取組

農水省農泊推進事業  
総務省関係人口創出事業など



# にんにく王国たっこまち 環十和田湖Gateway構想の推進

## 事業内容

### ●特定地域づくり事業協同組合事業の活用

☞地域でマルチワーカーを育て、人材のシェアリングで地域の未来を創る

### ●農山漁村振興交付金施設整備事業の活用

☞既存の地域資源を活かし、地域の共有財産に育て直す



## 成果・目標

地域の次の世代の担い手のための新しい産業を創出！

## 企業に求めるもの

- ☞地域の基幹産業（たっこにんにく）の育成・収穫・販売を支える人材の提供
- ☞特定地域づくり事業協同組合事業で必要となる備品や中古車の提供

## 企業に提供できるもの

- ☞地域づくりの構想段階からの事業参画の経験
- ☞満天の星空の下でワーケーションできる環境
- ☞地元民が堪能しているA5ランク田子牛の紹介

## 得られる成果等



# 秋田県にかほ市 子ども伴奏（伴走）プロジェクト

## 背景

- ① 東京一極集中による過密化  
→ 学校、医療、交通などのキャパオーバー
- ② 親が決める環境 ⇔ 子どもが選べない環境
- ③ コロナによるオンライン化



## 現状の課題

- ① 都市部での待機児童、高い生活費、雑多な環境  
→ 結局、親自身も大変な思いをしていませんか？
- ② 都市部の勤務 = 高収入 = 豊かな暮らし？  
→ 物質的な豊かさの時代は終わりました。  
→ **子どもの成長にとって豊かな暮らしとは？**
- ③ 通勤をする働き方  
→ 通勤時間にかかる時間的ロス、ストレス  
→ 家賃や通勤手当などの会社のコスト削減

主役は  
「子ども」

子どもと  
どのくらいの  
時間を過ごし  
ていますか？

## 事業の目的

### 「子どもにとって豊かな暮らしの実現」

【親・企業の役割】 地方でもできる働き方  
【環境】 自然、文化、体験、食、デジタル



## これまでの取組

- ・ オンラインイベントの開催
- ・ サテライトオフィスの整備
- ・ ベンチャー育成の支援プログラム
- ・ 若者支援住宅の整備



# 秋田県にかほ市 子ども伴奏（伴走）プロジェクト

## 事業内容

### 「子どもを軸にした暮らし」の実現に向けて

- ・ 「にかほ」の知名度UP …… オンラインイベントの開催
- ・ お試しワーケーションの実施 …… 体験プログラム
- ・ 起業育成支援 …… インキュベーション施設
- ・ 若者支援住宅整備 …… R4年度完成予定
- ・ にかほ地域学 …… 鳥海山、伝承芸能、ロボット、漁船体験

医療費18歳まで無料、ひとり親の医療費無料（所得制限有り）  
保育料（副食費含む）無料、待機児童ゼロ

## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・ 「子ども」の経験値UP
  - 考える力の育成
  - 脱偏差値
- ・ 「親」の負担軽減
  - 子どもと過ごす時間の増加
  - 経済的負担の軽減（上記支援制度）

### 企業に求めるもの

- ① お試しワーケーション
  - 地方での働き方実証実験
- ② 働き方改革
  - 地方でのテレワーク
  - 社内の体制づくり

### 企業のメリット

- ・ 子育て中の親が働きやすい環境
- ・ 企業の魅力向上
- ・ リスク分散とコスト削減

# 東御市 東御市まち・ひと・しごと創生推進事業

## 背景

人口減少や少子高齢化が進むなか、日本で唯一の高地トレーニング用屋内プール施設等を設備することにより、当市を訪れることのなかったアスリート等を、新たに呼び込み地域の活性化に繋げる。



## 現状の課題

難読市ナンバーワンを冠する、人口3万人の「ほどよく田舎」であっても、健全で持続可能な運営を行う為、企業版ふるさと納税や個人版ふるさと納税等の寄附金や広告宣伝費等の収入により、年額約1.8億円程度を確保する必要がある。

## 事業の目的

高地トレーニング施設の整備及び運営



- ・アスリート等の流入
- ⇒関係人口の創出
- ⇒雇用の創出
- ⇒知名度の向上

①

## これまでの取組

- ①日本水泳連盟、障がい者水泳協会等の強化合宿
- ②海外からの視察
- ③ジュニア育成



# 東御市 東御市まち・ひと・しごと創生推進事業



## 事業内容

- ・高地トレーニング施設運営
- 
- 湯の丸高原を  
”交流の入り口”とし  
ひとの流れをつくる



## 得られる成果等

- 成果・目標
- ・地域外の人を呼び込む
- 
- ・交流人口の増加
- ↓
- 将来にわたって活力ある  
地域社会の実現

- 企業に求めるもの
- ・業界団体へのPR
  - ・人材等の派遣
- 企業のメリット
- ・地域の活性化やアスリートの育成に貢献する
  - ・企業の知名度向上などPR効果がある

A screenshot of a website showing a list of participating companies. The header includes 'GMOアスリートクラブ' and '高野村会賛助者取覧表'. The table lists various companies with their names and logos, including '株式会社 高野村会', '株式会社 高野村会', '株式会社 高野村会', etc.

# 地域資源であるゴルフ場を核とした地域活性化 【兵庫県三木市】

1

**背景：**ゴルフ場数市内25か所  
西日本一、日本2位のゴルフ場数  
ゴルフのまち推進課を設置

2

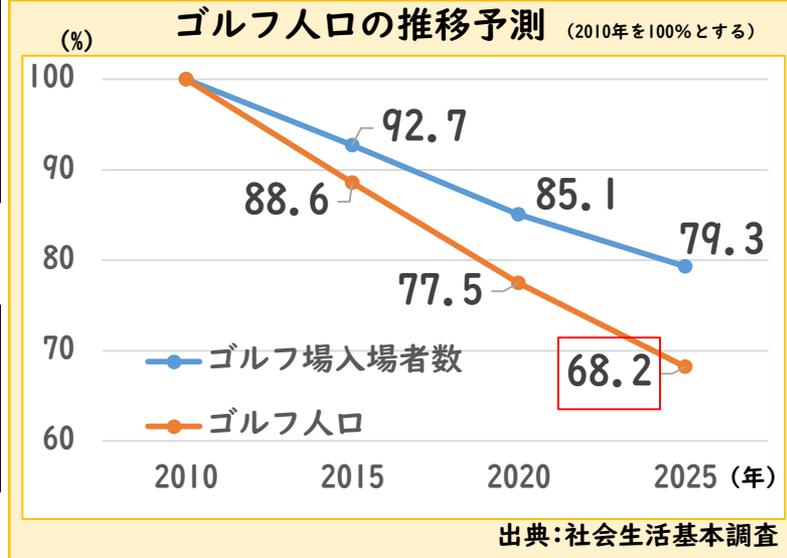
**課題：**ゴルフ人口の減少  
・価値観の変化（車、時間等）、高価なイメージ  
・2025年のゴルフ人口予測は2010年比68.2%

3

**三木市におけるこれまでの取組：**  
\*春高・春中ゴルフ大会の誘致、市主催プロ大会、  
市民大会等の主催、ゴルフ場スタンプラリーの開催 等  
\*ゴルフ場体験、ゴルフ教室（ジュニア育成）等

4

**今後の事業展開と寄附対象事業：**  
今までの取組に加え、「ゴルフのまち」としてのブランド化  
・海外富裕層の誘客、人材育成総合拠点誘致等



5

**成果・目標（2030年）：**

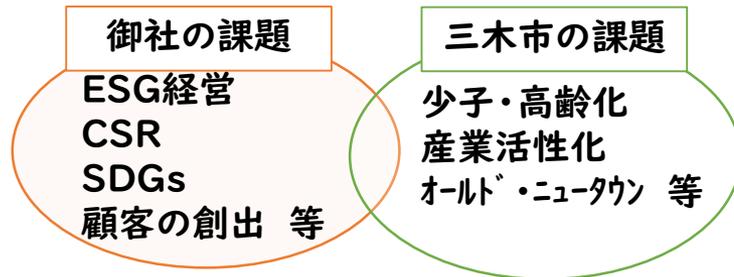
- ・ゴルフ場利用者数 120万人
- ・ジュニア育成ゴルフ教室・スナッグゴルフ大会参加者数 2,400人
- ・インバウンドへの参画事業者数 40社

6

**企業に求めるもの：【CSVの創出】**

**\*一緒に課題解決 ⇒ 共通価値の創造**

例：ゴルファー増加 ⇒ 企業の業績UP、新規事業創出



御社の課題 = 社会課題 の解決

7

**企業側のメリット：**

**\*業績UP、新規事業創出 等**

8

**他事業でも企業版ふるさと納税を募集中：**

- \*DX化、教育、健康増進、CO<sub>2</sub>削減 等
- \*ブランド力向上のためのプロ人材等の派遣 等



三木市では、  
他事業で  
人材派遣版も  
検討中です。



お問い合わせ先  
 三木市総合政策部  
 縁結び課 清水  
 0794-89-2303  
 emmusumi@city.miki.lg.jp



# 鹿児島県和泊町 まちゅんどプロジェクト

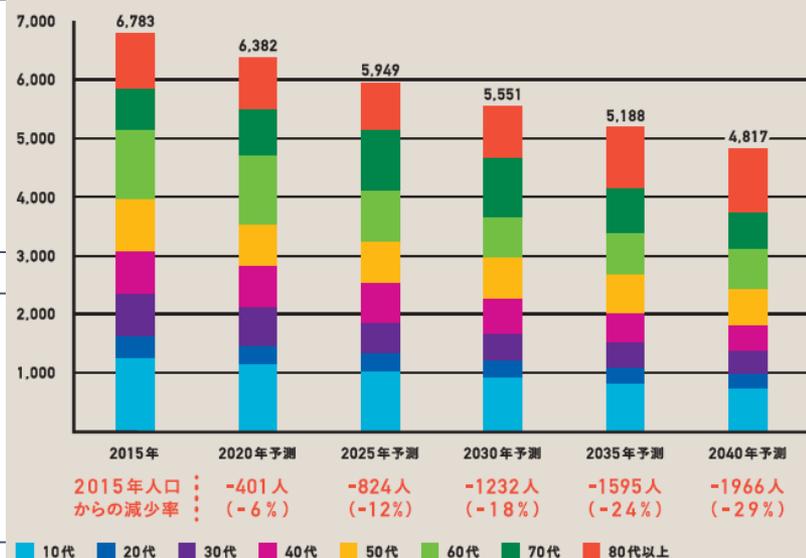
## 背景

若年層の人口流出と急速な少子高齢化による人口減少に歯止めが効かず、地域の衰退を招いている

## 現状の課題

- ▶ 急激な人口減少
- ▶ Uターン率の低下
- ▶ 空き家・空き店舗の増加
- ▶ 核家族化等による住宅不足

[ 将来推計人口の推移 ]



## 事業の目的

まちゅんどプロジェクトとは

※「まちゅんど」とは、沖永良部島の方言で「待ってますよ」という意味で、島の未来を担う子どもたちが島に愛着や誇りを持ち、将来は島の発展に貢献したいと帰ってきたくなる環境をつくる



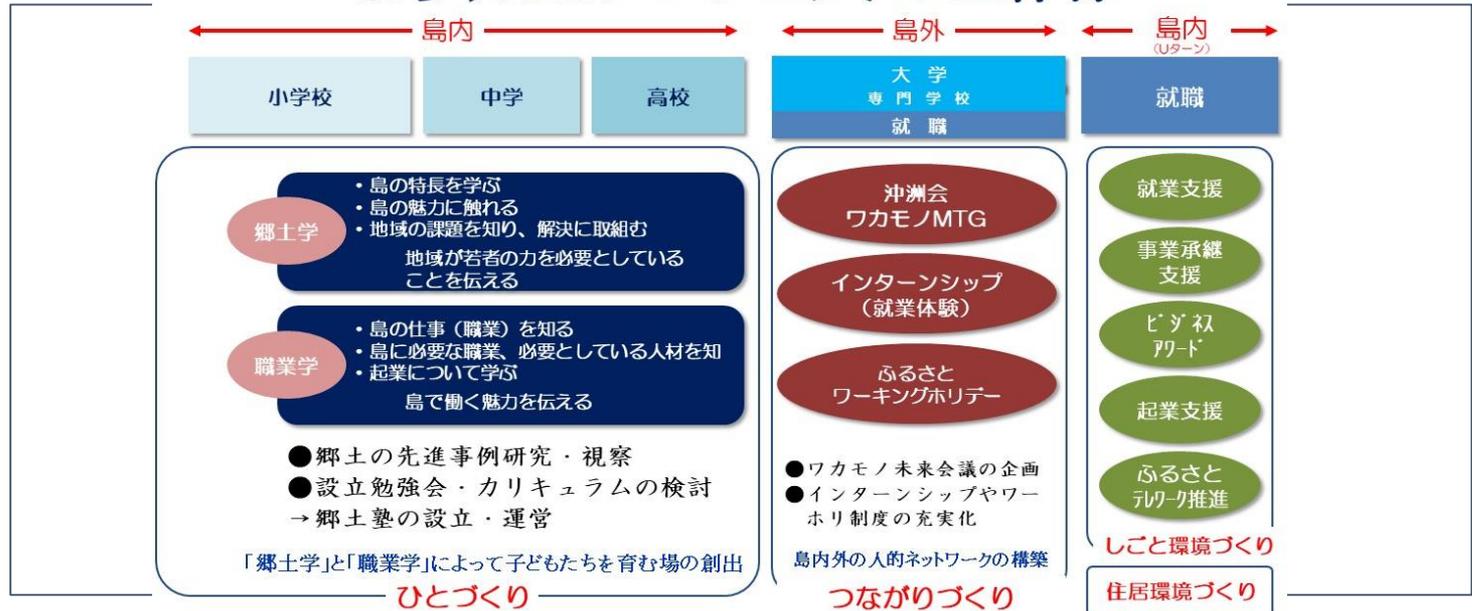
## これまでの取組

- 移住定住促進事業
- 移住・住宅等総合窓口整備事業
  - ※ 移住・定住相談員の設置
  - ※ 移住情報サイトを活用した情報発信「くらすわどまり」



# 鹿児島県和泊町 まちゅんどプロジェクト

## まちゅんどプロジェクトの全体像



事業内容

得られる成果等

### 【成果・目標】

- ▶ 郷土愛の醸成
- ▶ 島内外の人的ネットワーク構築
- ▶ 若者の就業・起業支援

※島の未来を担う人材の育成

※将来的なUターン促進

### 【企業に求めるもの】

- ▶ 郷土塾の開設、管理・運営ノウハウ及び人材の提供
- ▶ 若者の就業・起業に対する支援

### 【企業のメリット】

★地域の課題解決に貢献する企業としてのイメージアップ